

平成 27 年 12 月 17 日

賑わい、利便性、多様性を兼ねた新たな立川タウンがしゅん工  
立川駅北口西地区第一種市街地再開発事業  
街の名称（タウンネーミング）を「立川タクロス」に決定

立川駅北口西地区市街地再開発組合は、立川駅北口西地区第一種市街地再開発事業として平成 28 年 7 月末にしゅん工（予定）し誕生する新タウンのネーミングを「立川タクロス」と決定いたしました。本再開発事業は、商業・業務・住宅の大型複合施設だけではなく、新設される立川駅西側新自由通路（以下、新自由通路）や、駅改札と直結する利便性、多くの人々が集う交流広場などを併せ持つ複合開発となります。これら全体を一つの街とし、新たな賑わい、多様性、多摩地区の顔となる期待を込め、タウンネーミングを「立川タクロス」といたしました。

<タウンネーミング>

「立川タクロス（tachikawa tacross）」（商標登録第 5791970 号）

<タウンネーミングに込めた意味>

多くの人々がここ立川で交わり、大きな賑わいが生まれ続ける場所になる。

【新たな賑わい】多くの人々がマンションに移り住み、新たに設置された新自由通路、駅と直結した広場を行き来する人々。多くの人々がこの街に集い交流（Cross）することで、賑わいが生まれることを示します。

【多様性】立川駅北口には百貨店を始めとする商業施設、ホテル、オフィスが集積しており、また人々の憩いの場である昭和記念公園にも隣接しています。買う、遊ぶ、働く、憩うなど多様な可能性が交わる(Cross)街であることを示します。

【多摩地区の顔】交通の結節点(Cross)による利便性だけでなく、商業、行政機能等においても立川(Tachikawa)が多摩地区 (Tama) をリードしていく顔であることを示します。

<ロゴデザインに込めた意味>

施設名称の「立川タクロス」を、シンプルなロゴデザインで表現しました。ロゴデザインの中には、施設名称だけではなく、縦基調の建物外観をデザインモチーフに取り入れ、見た人が”あの施設だ”と分かり、今後、立川駅前のシンボル施設として親しみをもって頂けるようデザインにその思いを込めました。

<ロゴデザイン>



<事業概要>

名称	立川駅北口西地区第一種市街地再開発事業
施行者	立川駅北口西地区市街地再開発組合
施行区域	約0.7ha
延べ床面積	約58,550平方メートル
階数	地下2階、地上32階
高さ	約130m
主な用途	店舗、業務、住宅、駐車場等 うち、住宅319戸
竣工予定	平成28年7月末

<完成予想図>



南側外観パース



北側外観パース

<位置図>



<問い合わせ先>

立川駅北口西地区市街地再開発組合

担当 黒澤 (クロサワ)

電話 (042) 540-5400

メール tachikawakumiai@gmail.com